LSフォーム〈GRC製大型側溝用埋設型枠〉

NNTD 1215 FRC

意匠登録登録第1557313号
特許登録第6770817号

従来のガラス繊維による引張強度の補強効果に加え 補強材と緊張材による複合効果で、これまで以上の曲げ耐力を実現

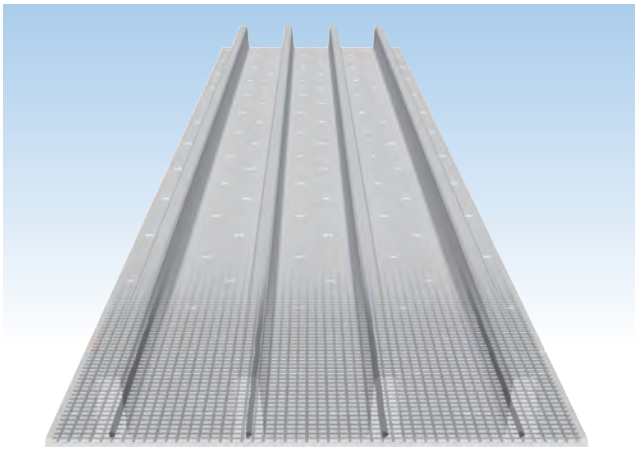
●特長

1.現場施工を合理化
ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。

2.作業効率の向上
- 製品のリブと配力筋のピッチが同じなため、スペーサ不要です。
- 製品重量:69kg/枚で人力による施工が可能です。重機の入らない狭小な現場や、急峻現場でも効率的に作業ができます。
- 耐荷重150kg/m²。製品の上で作業ができます。
  ※1枚に二人以上は乗らないでください。

3.コンパネ不使用による森林資源保護

4.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易



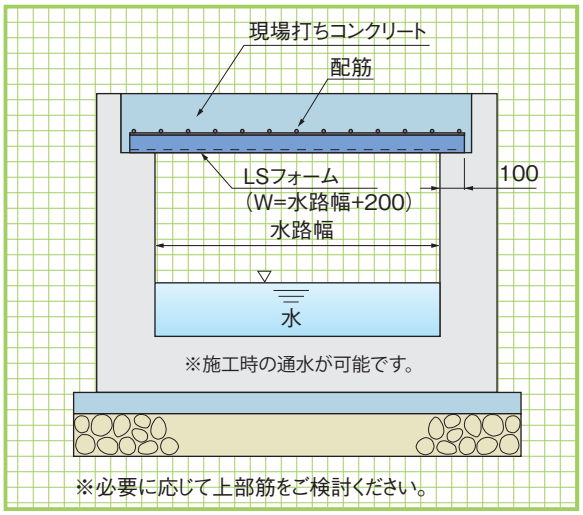
プレストレスの採用により従来のGRC製法と比較し**約2倍**の曲げ強度を実現しました。

■用途

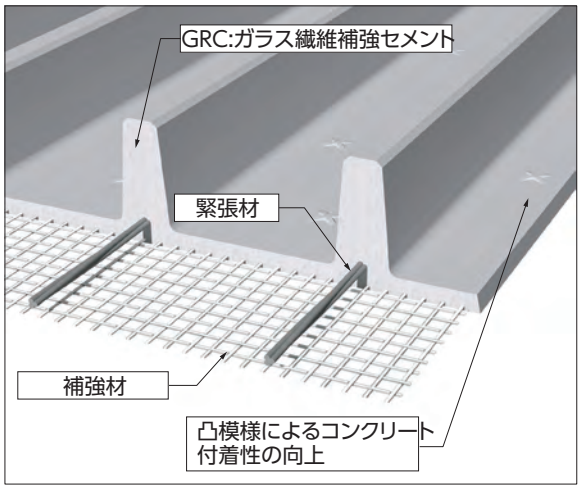
●長スパン用埋設型枠
溝幅1400以上の側溝暗渠型枠、建築、橋梁スラブ向け型枠等

施工断面図
製品構造図

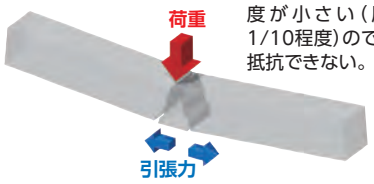
■参考施工断面図



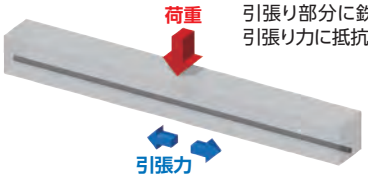
■製品構造図



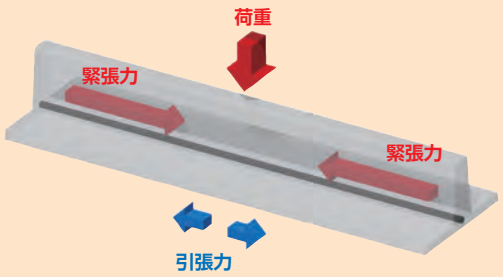
【無筋コンクリート】
コンクリートだけは引張り強度が小さい(圧縮強度の1/10程度)ので、引張り力に抵抗できない。



【鉄筋コンクリート】
引張り部分に鉄筋を配置して引張り力に抵抗する。

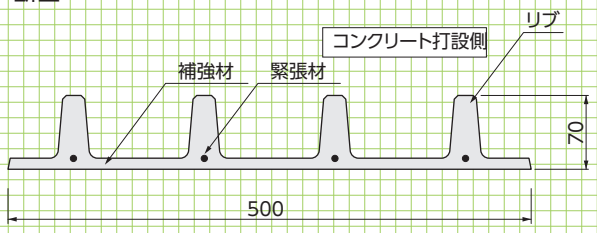


【プレストレストコンクリート】鉄筋のかわりに緊張力をかけた緊張材を配置することで※更に大きい引張り力へ抵抗する(曲げ強度アップ)

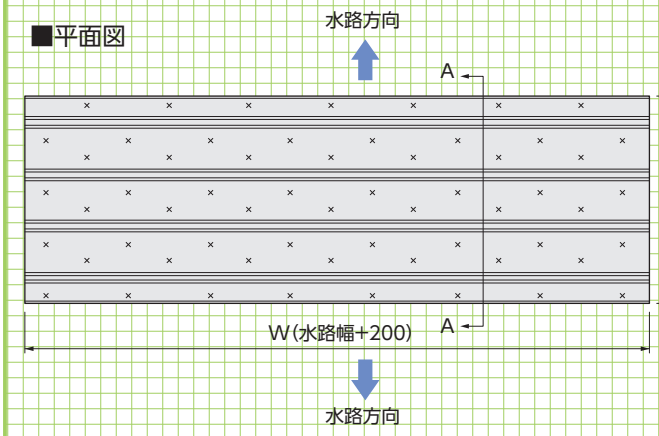


※プレテンション方式によるプレストレス導入

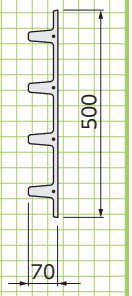
■A-A断面



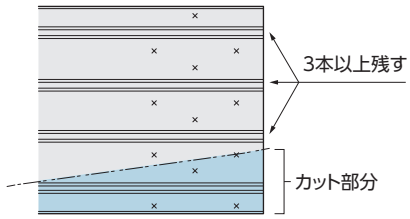
■平面図



■側面図



■LSフォームをカットする場合



端部処理などでLSフォームをカットする場合は
リブが3本以上残るようにカットしてください。

■寸法・重量表

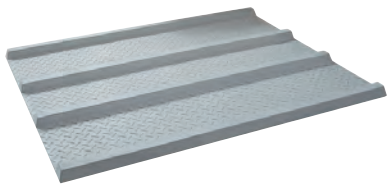
呼　称	W(mm) (水路幅+200)	参考重量 (kg)	参考歩掛 (人/枚)
1400用	1600	41	0.027
1500用	1700	43	0.027
1600用	1800	46	0.027
1700用	1900	49	0.027
1800用	2000	51	0.027
1900用	2100	54	0.027
2000用	2200	56	0.027
2100用	2300	59	0.027
2200用	2400	61	0.027
2300用	2500	64	0.027
2400用	2600	66	0.027
2500用	2700	69	0.027

※施工時はリブがついた面が上(打設面)となるように敷設してください。

側溝・水路幅による製品の使い分け

水路幅:250～600
KCフォーム

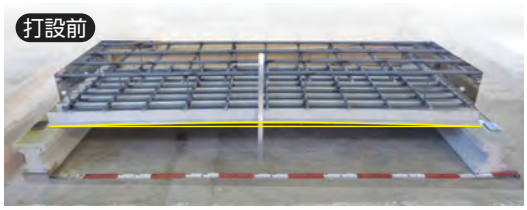
水路幅:600～1500
JSフォーム



水路幅:1400～2500
LSフォーム

※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはキャンバー(緊張力による反り)がついています。

▼施工例



※必要に応じて上部筋をご検討ください。